



## 「図書館は大学の心臓である」

図書館長

川上 宏二郎



大学は学術の中心であり、そのまた中心が図書館である。そこから図書館は大学の「心臓」であるといわれる。

その意味は、血液循環系の中枢器官を、「学術」循環系の「中枢」施設に譬えることにある。

前者の血液循環系からみよう。心臓には血液が集まる。それと同じように、図書館には図書資料が集められ、そしてそれをもとに学習・研究しようとする人が集まる。心臓から血液が出ていく。それと同じように、図書館から図書・資料が借り出され、利用を済ませた人が帰っていく。血液は身体全体に回って、細胞に栄養を与え、その生物体の生命を維持する。それと同じように、学習、研究した人があちこちに散らばっていき、そこでその成果を互いに与え合って、大学体の生命を活性化し維持する。

次に後者の中枢器官についてみよう。心臓がなければその生命体は死滅する。それと同じように、図書館がなければ大学はなく、大学という名の施設があるだけとなる。他の大学の関係者が本学に訪れたとき、その人たちがまず見たいと希望する施設設備は、図書館である。それを見ただけで、その大学の特色や学習のレベルがわかるからである。逆にわれわれが他の大学を訪ねたときもそうする。まさに図書館は大学の「中枢」施設なのである。

ところでこのような生命体には、生活現象と病気現象がある。ある、といっても一つの生命活動をこのいずれとみるか、ということである。同じ汗を出すという現象もスポーツをしての汗なら、生命体として当然の現象、すなわち生活現象とみられるが、異常な体温によるものであるなら、それは病気現象とみられるであろう。

図書館は多くの人に利用されてこそ図書館である。よりレベルの高い生活現象が生ずるようできるだけ利便性を向上させ開放的になるよう心がけねばならない。ところが実際には病気現象が生じて、心臓の正常な働きが阻害されることがある。その場合は阻害原因を取り除くようにしなければならないが、願わくばその前に利用者の自主自立的な生活現象の発揮が望まれるのである。

### 《目 次》

巻 頭 言	図書館長 川上 宏二郎	1
図書紹介・哲学に親しもう	経済学部助教授 大川 隆 夫	2
雪国コンテスト	法学部講師 山 田 憲 一	2
日本文壇史・伊藤 整	法学部4年 竹 原 栄一郎	3
エルヴェ・ギベールの作品	法学部2年 東 司 昌 子	3
あるとよ		4~5
コ ラ ム		6~7
統 計		7
新着図書・お知らせ		8



## 哲学に親しもう

経済学部助教授 大川 隆 夫

哲学と言う言葉を聞くと、皆さんは「難解で、自分達の生活に何の関係もない学問だ。」という風に考えてはいませんか？ いえいえ、哲学は難解なものではありませんし、実生活に何の関係もない学問でも無いのです。哲学は「ものの方、考え方」を私達に示してくれる大切な学問です。大学は、皆さんにとっては「ものの方や考え方を身につけて、自分の頭で考える事を修養する場」なのですから、そこに籍を置く皆さんが哲学に興味を持たない事は、大学に通う本当の意味を皆さんが見いだしていない事を意味する、といっても過言ではありません。

このように書くと、「じゃあ何を読めばいいんですか？ 私は、哲学（の入門）書を繙いてみた事がありますが、専門用語がわんさか出てくるは、文章はわかりにくい言い回しが多くて理解できないはで、とても読む気がしませんでした。」という反論が、皆さんから返ってくると思います。この反論に対する私の答えはこうです。「だまされたと思って『ソフィーの世界』を一度読んでご覧なさい。」

さて、今回紹介させて頂く「ソフィーの世界」は、一種のミステリータッチの小説の体をした「哲学の歴

史」を理解するために書かれた最良の書です。今年度のベスト・セラーになっておりますので、名前を聞いたことのある人もいるでしょう。本書では、ギリシャ哲学からサルトルまでの哲学史をざっとおさらいしています。専門用語にも丁寧な解説がつけてありますし、色々な哲学者の考え方もポイントを押さえた書き方がなされています。構成も見事で、先人のやった業績に対する問題点を、次世代の哲学者がどのように解消していったか、という点がうまく書かれております。加えて、小説でもあるわけで、そちらの結末もどうなるか、わくわくしながら読み進められます。

最後に、簡単なあらすじを紹介しておきましょう。14歳の少女ソフィーは、ある日、切手も貼っていない手紙を次々受け取ります。それには「あなたは誰？ 世界はどこからきた？」という質問が書いてありました。加えて、ソフィーはヒルデという少女のバースデイカードも受け取ります。一体、手紙の送り主は何者か？ 手紙に書かれた問いの答えは？ ヒルデという少女は何者なのか？ これらの謎の答えを知りたい人は、「ソフィーの世界」を繙いてみましょう。そうすれば必ず哲学に興味を持つこと請け合いです。



## 雪国コンテスト

法学部講師 山 田 憲 一

京都の出町柳というところ（水上勉の『出町の柳』という小説の舞台になっています）に柳月堂という名曲喫茶があって、私は、学生時代、ほとんど毎日のように、そこでコーヒーを飲みながら数時間を過ごしていました（その分、授業には出ていなかった、ということになります）。あるとき、常連の一人が、店に一冊の本を置いていったことがありました。見ると、川端康成の『雪国』の冒頭、有名な「国境の長いトンネルを抜けると雪国であった。」で始まり、信号所に汽車が止まって娘が「駅長さん」と呼びかけて……という部分を他の作家が書いたらどうなるか、というパロディをやっている本です。残念ながら、誰が書いた何というタイトルの本だったかは忘れてしまいましたが、その本を皆で面白がって読んでいたうちに、誰かが「俺たちもこんなのをやってみよう」と言い出し、店のマスターが、「じゃあコンテストをやろう。一等賞にコーヒーチケット一つづり出す」と宣言して、にわかに「雪国コンテスト」なるものが始まってしまいました。

コーヒー一杯で何時間も粘れる店で、当然値段が安いとは言えませんから、さして裕福でない学生にとって、コーヒーチケットという賞品はやはり魅力です。そこで、どうやったら一等賞をとれるか、少しは考えました。コンテストの選考方法は参加者全員による投票ということになっていましたから、なるべく多くの

人に面白いと思わせる必要があります。ところが、参加者＝審査員というのが、いまだき名曲喫茶の常連になるような連中ですから、ドストエフスキーのファンだとか、高橋和巳の信奉者だとか、まずは高尚な趣味の持ち主が揃っています。小中学生の頃はSF、それもスペース・オペラという、宇宙を舞台に西部劇をやっているような類のものが大好きで、高校生の時分には渡辺淳一を愛読していた私とその辺のパロディを書いていったところで、彼らに受けるはずはありません。そこで思いついたのが、みんな名曲喫茶に溜まっている連中で音楽は好きなのだから、音楽について文章を書いている人の真似をすれば受けるのではないか、ということで、結局、吉田秀和という音楽評論家の下手な物真似を書いて持っていきました。が、同じようなことを考える人はいるもので、ふたをあけてみると、やはり音楽評論をやっている宇野功芳という人のパロディが出てきて、こちらには柳月堂の常連にしか通じない内輪ネタがふんだんに盛り込まれていたこともあって大受けとなり、一等賞はそちらにさらわれてしまいました。

これはもう何年も前の話ですが、最近、この人の雰囲気を書いてみたら面白そうだ、と思う本に出くわしました。それを記して、話題図書紹介の責をふさぐことにします。

青木雄二『ゼニの人間学』（KKロングセラーズ）



## 日本文壇史・伊藤 整

法学部4年 竹原 栄一郎

斉藤緑雨を御存じであろうか。緑雨は明治期の文人で、志は小説にあったが叶わず、萬朝報や都新聞にアフォリズムを書くことでなんとか糊口をしのいだ。

「按ずるに筆は一本也、箸は二本也。衆寡敵せずと知るべし。」緑雨の警句の中でもこれが一番知られているであろう。他に「チョコピンとは俺のことかとショパン言い」というのも彼である。皮肉とユーモアにあふれた彼の数々の警句は、現代にもじゅうぶんに通用する。ただ、三行長くても十行という短文に、可能なかぎりの技巧を尽くしたが、報われること少なく、貧窮のうちに結核で世を去る。「僕は本月本日をもって目出たく死去つかまつり候」という彼自身による死亡広告が新聞に掲載された。墓碑名は緑雨酔客。江戸文化の最後を飾る男であったといわれる。

以上を私は伊藤整の「日本文壇史」(全18巻)から知った。題に文壇という字があるけれども、明治の思想史あるいは社会史でもある。

啄木こと石川一は、自作が掲載された「明星」を添えて朝日新聞に履歴書を出した。月給は三十円を望むと書いておいた。よせ、それではまとまる話もまとまらぬ、と友人金田一京助は止めた。月給三十円は当時

大卒の初任給である。なにかまうものか受かるとは思っていない。だが目出たく啄木は就職するのである。

幸徳伝次郎は同郷の先輩中江兆民の家に書生として住みこんでいた。ある時兆民が、君のように自他に厳しくは生きづらからう。春か霞のようではなければ長生きできまい。いっそのこと春暮とでも号してはどうかと言った。伝次郎答えて、私はそういうのが一番嫌いで、できるならば春か霞の反対の名を名乗りとうございます。兆民笑って以前己が使っていた秋水という名を送った。以後伝次郎は幸徳秋水と名乗るようになる。

このようなエピソードが数えきれないほど書いてある。大は政府のことから小は給料、身長のことまで、些事をいくつも重ねることで読むものにありありと明治をみせてくれる。なにより伊藤整自身の明治への憧憬、文士たちへの哀惜が文章のあいだにこめられている。明治は複雑な響きを持つ時代で、そしてはや夢のような時代である。だが間違いなく若々しい時代でもあった。沸騰するような興奮と、それに伴う苦悩。日本が初めて経験した「国」であることの情熱が、生き生きとした群像をとおして描かれた本である。



## エルヴェ・ギベールの作品 (以下全て集英社刊)

法学部2年 東 司 昌 子

『ぼくの命を救ってくれなかった友へ』この恨みがましくも静かで悲しいタイトルはエイズで1991年になくなったフランス人エルヴェ・ギベールの小説につけられたものだ。36歳であった。

「ぼくは3か月間エイズだった。」という宣言で始まるこの本は作者自身が「ぼく」であり、多くの実際の出来事を含む。回想する形式で、文体も軽く平易だ。まるで「ぼく」の日記のページをランダムに読んでいくような小説だ。

この本の重要な部分に「ぼく」の友人で哲学者のミシェル・フーコー(作品中ではミュージルとしてある。)のエイズ発病と死がある。ギベールはフーコーの死を通して自分のことを考える。そしてエイズではない者も、ギベールの話を通して自分の死を想うことができる。私たち大学生のほとんどは若く健康な者であって、死は常に自覚されているとは言いがたい。人の命は生まれることによって既に差し押さえをくらっているといふのになだ。

ギベールはホモセクシャルであるし、その生活はとても普通のものとは言えない。特殊かもしれない状況を彼が語ると、それは自然で、きっと異なった価値観を受け入れることができるようになるだろう。

ホモセクシャルや病人に対して(エイズに限らず)何か嫌悪を強く抱く人にこそ読んでほしい。自分の価値観を考え、試してみてください。性について、友人について、血縁者について、愛情について。

ところで、この小説には続編がある。『憐れみの処方箋』であり、前作の反響に応じたものだ。そして『赤い帽子の男』はさらにその続きともとれる小説である。ぜひ三作読んでいただきたい。それらは決して重く、暗く、辛い、病人の涙ではない。「ぼく」は弱った体にもかかわらず旅をするし、サンダルをはいた女性のかかたがピンクに染まっているのを見つける。そして絵画に対する情熱を持ち、美をおもう。彼の視線は生きている。

どうか、彼の生きた日々を読んで下さい。

『ぼくの命を救ってくれなかった友人へ』 佐宗鈴夫(訳)

『憐れみの処方箋』 野崎 欽(訳)

『赤い帽子の男』 堀江敏幸(訳)

『ヴァンサンに夢中』 佐宗鈴夫(訳)

『楽園』 野崎 欽(訳)

『召使と私』 野崎 欽(訳)

[図書館所蔵]

## あ る と よ

新聞やTVニュース等によって取り上げられる、キーワードに係わる関連図書(資料)の紹介です。配架場所が分かるように請求番号も表示しました。

なお、このようなキーワードについては、すぐに図書として出版されるわけではなく、その前に新聞や雑誌等でいろいろと取り上げられます。これらを検索するために第1参考図書の「雑誌記事索引」や、1階雑誌架の「新聞ダイジェスト」また「新聞縮刷版」が役に立ちます。これらの参考資料を利用するための入門書として「第1参考図書活用ハンドブック」を作成していますので、併せてご利用下さい。

### 【リサイクル法】

缶や紙パックなど容器、包装材のリサイクルを企業に義務づける新法。これまで自治体任せだったごみの処理は、生産、流通、消費という経済の流れから切り離され、市町村はオフィスや家庭から出るごみの「後追い処理」に追われてきた。この法律が注目されるのは、ごみ処理の責任を市町村だけでなく、生産、流通にかかわる企業や消費者にも分担させるルールをつくった点。効果が発揮できるかは、消費者や企業、自治体の取り組みにかかっている。(就職ジャーナル '95)

#### 関連図書

ごみリサイクル：環境にやさしいライフスタイルの提案／和田安彦／読売新聞社  
／518.52.8

ごみリサイクル白書：多摩地域におけるごみの現状と課題／多摩地域ごみ問題研究会／公職研／518.52.23

環境教育・授業記録集2：台所から地球まで；リサイクルはムダですか／ネットワーク編集委員会／学事出版／  
375.3.33

廃棄物とリサイクルの経済学：大量廃棄社会は変えられるか／植田和／有斐閣／  
518.52.9

### 【製造物責任法】

20年来の懸案であった製造物責任法(略称PL法)が、1994年6月22日参議院本会議において可決され、7月1日公布、1年後の7月1日から施行された。製造物責任法は第1条(目的)を「この法律は、製造物の欠陥により人の生命、身体又は財産に係る被害が生じた場合における製造業者等の損害賠償の責任について定めることにより、被害者の保護を図り、もって国民生活の安定向上と国民経済の健全な発展に寄与することを目的とすること」とし、製品に欠陥があれば、その欠陥商品による消費者被害は製造業者等の過失の有無を問わず損害賠償責任を負うとする画期的なものである。(imidas '95)

#### 関連図書

わが国の製造物責任法：現状と立法論／竹内昭夫／有斐閣／324.55.76

逐条解説製造物責任法／経済企画庁国民生活局消費者行政第一課／商事法務研究会／324.55.106

注釈製造物責任法／山本庸幸／ぎょうせい／324.55.108

製造物責任法総覧／加藤雅信／商事法務研究会／324.55.111

## 【規制緩和】

政府が法律などによって民間企業や国民の活動に関与・介入する「公的規制」を緩和すること。こうした規制は、政府主導の産業発展や国民生活の安定を図るうえで一定の役割を果たすが、生産者保護につながり、内外価格差を広げるなど消費者の利益が損なわれる面があり、日米経済摩擦などの外的要因から緩和が今日的懸案になっている。経済構造改革の観点からも、新政権にとっては待ったなしの課題。(就職ジャーナル '95)

## 関連図書

- EC市場統合と保険の規制緩和：西ドイツ  
独占委員会リポート／西ドイツ独占委  
員会／東洋経済新報社／339.3.1  
消費者重視の経済学：規制緩和はなぜ必要  
か／伊藤隆敏／日本経済新聞社／  
332.107.83  
規制緩和の経済学／加藤雅信／東洋経済新  
報社／601.1.78  
規制緩和で日本が変わる／規制緩和研究会  
／ジャパントイムズ／332.1.565  
東京資本市場：規制緩和と金融機関の動向  
／アンダーセンコンサルティング／  
中央経済社／338.14.121

## 【地球温暖化防止条約】

地球温暖化とは二酸化炭素やメタン、特定フロンガスなど温室効果ガスの大気中濃度が高まり、地球の平均気温が上がる現象。これを防止する「気候変動枠組み条約」が地球温暖化防止条約で、日米欧や中国などが調印している。この条件は90年代末までの温室効果ガス排出抑制対策しか取り決めていないことから、政府は2000年以降の対策づくりを促す政府見解をジュネーブの条約事務局に伝える方針。国連の専門家会議は、温室効果ガスの規制をしない場合、21世紀には地球の平均気温が摂氏3度上昇すると予測している。条約は2年前ブラジルで開かれた地球サミットで調印され、来年3月にはベルリンで第1回条約締結国会議が

開かれる予定。(就職ジャーナル '95)

## 関連図書

- IPCC 地球温暖化レポート：「気候変動  
に関する政府間パネル」報告書サマリー  
／Intergovernmental Panel Climate  
Change／中央法規出版／451.35.3  
地球温暖化への挑戦：グリーンピース・レ  
ポート 政府・企業・市民は何をなす  
べきか／Leggett, Jeremy K.／ダイ  
ヤモンド社／451.35.4  
進む地球の温暖化と農業／農政ジャーナリ  
ストの会／農林統計会／613.1.3  
地球環境の行方：地球温暖化の我が国への  
影響／環境庁地球環境部／中央法規出  
版／519.8.26

## 【ディスクロージャー／企業情報開示】

最近では、企業情報の公開が求められ、法的にも開示することが強制されている分野がある。財務諸表の会計情報は、証券取引所に上場されると公開が義務づけられる。最近では、企業の情報をもとに自己に有利に取引する企業のインサイダー取引行為が禁じられるようになった。なお、情報を完全に公開してしまえばインサイダー取引の発生する余地はなくなる。ディスクロージャーの社会的意義はそこにあるといえる。(知恵蔵 '95)

## 関連図書

- ソーシャル・ディスクロージャーの新展開  
／Johnson, Harold L.／中央経済社  
／679.J2.1A,1B  
社会関連情報のディスクロージャー／山上  
達人, 飯田修三編著／白桃書房／  
336.17.52A,52B  
ディスクロージャーの知識／福田真也／日  
本経済新聞社／330.8.3-469  
新しいディスクロージャー制度解説／大蔵  
省証券事業財務課開示制度研究会／別  
冊商事法務／325.05.2B-103

## 我 與 讀 書

吉林大学教授 宿 久 高



在被問及愛好的時候，許多人把讀書放在首位。我也愛書，愛讀書。有時被某本書（多是文学作品）所吸引而一口氣讀完，以至廢寢忘食。然而更多的則是因研究或教學需要讀一些專業方面的書。這種讀書是與愉悅和辛勞相伴的。其實人有一種與生俱來的惰性，往々得偷懶就偷懶。我這樣的“職業讀書人”也不例外，條件越好，書越豐富，這種惰性表現得越明顯。

“鵝，鵝，鵝，曲頸向天歌，白毛浮綠水，紅掌撥青波。”這首至今不忘的駱賓王的名詩（該詩憑記憶寫出，未查到原文，或許有誤，文責筆者自負）便是我幼時讀書生活的起點。我生長在農村，自幼家境貧寒，且父母目不識丁，家里不要說書，就連帶鉛字的紙片都難以找到。可那時對書的渴望是那般的強烈，每得一書，無論是否適合當時的閱讀能力，非讀完不願釋手。小學時偶得一本封皮破旧的《辯證唯物主義與歷史唯物主義》，竟在煤油燈下逐字逐句地讀完，想來令人捧腹。小學生哪可能懂得那些深奧的什麼主義！可是，那些文字理解上的謬誤，那種讀完后不知所云的朦朧，那種由謬誤與朦朧產生的愈發強烈的求知欲望和執拗，那種似乎突然領悟到了什麼的興奮與激動，作為人生的寶貴財富至今仍深々地留在我的記憶里。

上了大學，暢游在吉林大学圖書館這座擁有220萬冊藏書的知識寶庫里，着實令我興奮不已。每本書就象一塊巨大的磁石，吸引着我在閱覽室里度過

每一個夜晚，伴隨我度過四年的大學生活。是那些書帶我去探知未知的世界，豐富我的人生，滋潤我的心田，給了我無數的啓迪和思索。從那時起我才真正懂得了書對人生的重要。

當了教師，成了“職業讀書人”，整日以書為伴。學校里有書，家中書房里也滿壁是書，書香四溢，典雅氣派。本來，在書的海洋里，原來讀過的一本半本，擁有的一知半解都不過是一點一滴，微不足道。但人往々難有自知之明，有時則因為讀過一本半本書，擁有一知半解的知識而飄々然起來。當然，書還是經常讀的，但是我却時而感到，讀書時雖然多了幾分思考，但却少了幾分幼時與大學時代對書的熱望。有時是被動的，有時還會把滿屋的書視為滿足“學者”之虛榮心的擺設。其實，真正讀過、讀懂的又有幾部呢？家有萬卷何以證明主人腹蘊五車呢？

貧窮催人奮進，富有滋生懶惰。讀書亦同此理。沒有時如饑似渴，有了又不付出辛苦去讀，或許當擁有的東西失去時才會痛感到牠的寶貴。中國現代文學的奠基人，偉大的文學家魯迅回憶在仙台留學時受益匪淺的藤野巖九郎先生時，曾寫下這樣一段文字：“每當夜間疲倦，正偷懶時，仰面在燈光中瞥見他黑瘦的面貌，似乎正要說出抑揚頓挫的話來，便使我忽又良心發現，而且增加了勇氣，於是點上一支煙，再繼續寫些……文字。”魯迅所言是極其坦誠的。其實，人疲倦時會偷懶，不疲倦時也會偷懶的。看來為了繼續認々真々地讀書，為了復甦原來的求知渴望與熱情，為了人生中多幾許勤奮，少幾許懶惰，不僅需要師長嚴厲的目光，需要“抑揚頓挫的話”，還需要自己經常往自己身上揮上幾鞭。

## アジア研究資料の宝庫

— 東洋文庫 —

吉林大学助教授 趙 英 蘭



東洋文庫はアジア文献の宝庫とよばれています。本当にその評判にたがわず素晴らしい文庫でした。9月末、私は資料をさがしに行つて深い感銘を受けたので、簡単に紹介します。

東洋文庫はさすが東洋学研究の資料センターに恥じないものです。蔵書総数は80万冊。中国のほか、日本、朝鮮、蒙古、シベリア、中央アジア、西アジア、エジプト、インド、東南アジア等アジア全域に関するものが集められています。

その中で、モリソン文庫には、中国を中心とする欧文図書で6000種、24000冊。中国の地方誌及び叢書は4000部。中国の族譜、清朝刊行の満蒙文

書籍、各種の蔵経やその他のチベット語図書は800種を越える。岩崎文庫には和書、漢書7142部、3183冊。古鈔本、五山版、古活字本、嵯峨本等をはじめ、江戸、明治時代の学者の自筆本、文学作品を中心とする一大蒐集。そのほかに、近代日本の政治、経済、軍事、外交、歴史、文学、宗教、社会学に関する図書、日本、朝鮮、中国に関する考古資料、図書、近代中国関係資料に関する図書など、重要なコレクションは国宝や重要文化財といえます。

東洋文庫はまた、東洋学研究のセンターです。東洋学の各分野を中国研究、東北アジア研究、中央アジア、イスラム、インド、東南アジア研究、日本研究などの部門、12個研究委員会に分けている。民間研究機関として、一大学、一研究所、一国家の枠を越えて、専門家と共同、協力して研究しています。特定の研究課題について共同研究を

し、その研究成果を刊行しています。東洋文庫所蔵の稀覯書、貴重資料を国内外研究機関、研究者へ普及・紹介もします。主な出版物は東洋学報、東洋文庫欧文紀要、東洋文庫論叢、東洋文庫叢刊などがあります。同時に、多種の講演会、研究会、展示会、交流会を催し、国内外の研究機関や学者と情報交換や研究成果の交換を行います。したがっ

て、東洋文庫は日本ばかりでなく、国際的にもユニークな学術活動のセンターといえます。

現在、東洋文庫は世界的な宝庫として、多くのアジア全域の人文、社会科学の研究者を引きつけています。これらの文化財を充分に利用して、世界の東洋学の発展のために大きく貢献しましょう。

### ■ 閲覧・利用者(奉仕)の部 (平成6年度)

#### 1. 入館者数(延べ人員)

(単位:人)

項目 月	入館者総数	卒業生	学 外 者		
			学 生	教 員	その他
4	20,175	59	8	2	
5	38,190	57	21	7	
6	49,203	66	13	5	
7	39,289	76	15	7	2
8	19,762	75	16	2	
9	73,641	49	13	6	
10	36,641	76	14	9	
11	32,700	31	18	4	
12	22,763	39	16	4	
1	62,215	36	15	1	1
2	14,533	43	6	2	
3	11,926	72	19	11	
合計	421,575	679	174	60	3

#### 2. 学外者利用内訳

(単位:人)

	国立大学	公立大学	私立大学	短 大	その他	合 計
学部学生	47	11	64	12		134
大学院生	35		3			38
教 員	16	23	12	9		60
留 学 生	2					2
職員、他	2				1	3
合 計	102	34	79	21	1	237

#### 3. 文献複写数

##### 1) 一般複写

	1 階	3 階	合 計
電 子 複 写 (枚)	93,548	77,367	170,915
マイクロフィルム(コマ)	1,204		1,204
マイクロフィッシュ(シート)			
合 計	94,752	77,367	172,119

##### 2) 相互協力複写

(単位:件)

	国 内					国 外	
	国立大	公立大	私立大	国 会	その他		
受 託	47	72	620	0	11	0	
依 頼	教 員	34	2	164	4	41	11
	院 生	17	0	52	6	9	0
	学 部 生	10	0	25	2	11	0
	その他	0	0	4	0	0	0
計	61	2	245	12	61	11	

#### 4. AVブース資料利用頻度

(単位:件)

種類 月	ビデオ	レーザー ディスク	CD	テープ	レコード	合 計
4	79	53	1	28		161
5	94	47	2	26	2	171
6	131	95	1	22		249
7	146	78	6	21		251
8	53	68	2	21		144
9	69	42	3	29		143
10	161	73	6	56		296
11	114	71	2	20		207
12	107	64	1	18		190
1	48	27	3	9		87
2	38	25	4	16		83
3	25	20	11	25	1	82
合計	1,065	663	42	291	3	2,064

#### 5. AVブース利用頻度

(単位:件)

種類 月	1 人 用 AVブース	2 人 用 AVブース	オーディオ ブ ー ス	合 計
4	114	18	29	161
5	126	15	30	171
6	189	37	23	249
7	184	40	27	251
8	112	9	23	144
9	98	13	32	143
10	196	38	62	296
11	158	27	22	207
12	147	24	19	190
1	72	3	12	87
2	49	14	20	83
3	40	5	37	82
合計	1,485	243	336	2,064

## 新着図書紹介

- <書名／編著者／出版社／請求記号>  
 知の探偵術／武田 徹／パルコ出版局／  
 007. 5. 18  
 本からの発想／日下公人／文藝春秋／  
 019. 04. 15  
 パースナリティ／半田智久／新曜社／  
 141. 93. 78  
 聖書の論理が世界を動かす／鹿嶋春平太／  
 新潮社／193. 04. 11  
 中世の社会と武力／福田豊彦／吉川弘文館／  
 210. 4. 84  
 フランス革命の主役たち／サイモン・シャーマ／  
 中央公論社／235. 06. 36-1~3  
 忘れえぬ日本人／中野好夫／筑摩書房／  
 281. 04. 29  
 核時代の科学者たち／パリティ編集委員会／  
 パリティブックス／283. 0. 8  
 アジアの民主化と女たち／伊従直子／明石書店／  
 302. 2. 38  
 公共政策学入門／足立幸男／有斐閣／  
 311. 7. 12  
 地域政策の課題／横山昭市／大明堂／  
 318. 6. 10  
 憲法小体系／竹内雄一郎／高文堂／  
 323. 14. 96  
 専門家責任の理論と実務／山川一陽ほか／  
 新日本法規出版／324. 0. 30  
 制度・制度変化・経済成果／D. C. ノース／  
 晃洋書房／331. N96. 1  
 中華帝国の構造と世界経済／黒田明伸／名古屋大  
 学出版会／332. 22. 306  
 あなたにもわかる国際経済論(増補版)／  
 仙頭佳樹ほか／多賀出版／333. 6. 410  
 日本企業の国際化戦略／今西伸二／同文館出版／  
 335. 5. 88  
 経営管理を学ぶ／上野一郎／産能大学出版部／  
 336. 0. 62  
 企業会計の理論と実際／守屋俊晴／中央経済社／  
 336. 9. 41A  
 新・価格破壊／毎日新聞社／毎日新聞社／  
 337. 8. 17  
 緑の料金／世界資源研究所／中央法規／  
 345. 1. 242  
 分権化時代の地方財政／日本地方財政学会／  
 頸草書房／349. 0. 60  
 日本人論の方程式／杉本良夫ほか／筑摩書房／  
 361. 42. 65  
 児童福祉論一課題と実践／喜多祐荘ほか／  
 中央法規／369. 4. 136  
 ニューメディア時代の子どもたち／子安増生ほか  
 ／有斐閣／371. 45. 157  
 大学への旅／喜多村和之／紀伊國屋書店／  
 377. 21. 39  
 カオスの素顔／ニーナ・ホール／講談社／  
 415. 5. 1  
 生命観を問い直す／森岡正博／筑摩書房／  
 490. 15. 96

- 対人恐怖の心理／永井 徹／サイエンス社／  
 493. 74. 17  
 日本の経営・生産システムとアメリカ／安保哲夫  
 ／ミネルヴァ書房／509. 6. 31  
 地域環境50の仮説／西岡秀三／東海大学出版会  
 ／519. 0. 113  
 地域環境の行方／環境庁地球環境部／中央法規／  
 519. 8. 26  
 進化するハイパーネットワーク／会津 泉／  
 NTT出版／547. 48. 47  
 森と文明／ジョン・パーリン／品文社／  
 654. 0. 12  
 挑戦する流通／伊藤元重／講談社／  
 675. 4. 78  
 楽器とコンピュータ／持田康典ほか／共立出版／  
 763. 9. 3  
 英語のソーシャルスキル／鶴田庸子ほか／大修館  
 ／837. 8. 143  
 フランス語がわかる／曾我祐典／白水社／  
 850. 7. 49  
 日本文学における〈他者〉／鶴田欣也／新曜社／  
 910. 4. 88  
 モーツァルトを聴く人ー谷川俊太郎詩集／  
 谷川俊太郎／小学館／911. 56. 155  
 命を削る鉤／串田孫一／春秋社／  
 914. 6Ku86. 4  
 ダニエル・キイス読本／早川書房編集部／  
 早川書房／930. 28Ke67. 1  
 イギリスの四季と生活の詩／出口保夫ほか／  
 研究社出版／931. 0. 101  
 シェイクスピア劇の登場人物ーその性格と心理／  
 高山浩子／ごびあん書房／932. Sh12. 71  
 クレティアン・ド・トロワ『獅子の騎士』／  
 菊池淑子／平凡社／951. Tr7. 1  
 (上記は、平成7年6~9月新着図書〈和書〉の  
 一部です)

### 【お知らせ】

#### ★卒業論文用の貸出

卒業論文のために貸出を希望する方は、  
 カウンターで手続きをしてください。  
 通常の貸出冊数とは関係なく、3冊30日  
 間の貸出が可能です。ただし、更新は出来  
 ませんのでご注意ください。

#### ★冬休み長期貸出

対 象  
 学部学生 5冊 留学生 10冊  
 専攻科生 5冊 選科生 5冊  
 貸出期間 12月13日(水)~'96年1月6日(土)  
 返却期限 '96年1月20日(土)

#### ★休館日

11月18日(土)  
 12月25日(月)  
 12月27日(水)正午~'96年1月5日(金)

### 編集後記

試験期間中の私語騒音はおよそ図書館というイ  
 メージを修正させられた。ようやく、落ち着きをと  
 りもどせて良かった。(M)